



## 新たなステージの始まり

校長 庄司勝彦

シン・東小としてのスタートから1年が過ぎ、今年度からは教育活動や学校生活をより確かなものにしていく次の段階「ステージ2」に入っていきます。子供たちは新しい環境や友達関係に慣れ、それぞれの学校で育まれてきた良さが、日々の学校生活の中で自然な形で融合し、学校全体に活力と一体感が見え始めています。

統合2年目、本校の学校教育目標を「学び合い 支え合い 高め合う人」としました。統合により多様な考え方や経験をもつ仲間が集まった今だからこそ、互いの違いを認め合いながら学び合い、困ったときには支え合い、自分自身を高めていく姿を大切にしていきたいと考えています。その土台となるのが、互いを思いやる心や信頼関係といった、目に見えにくい力です。

ランドデザインには、やたらと長い根っこが見えるケヤキの木を背景に組み込みました。これは見えることだけに目を向けるのではなく、それを支える土台を強く太く長くすることの大切さを意識してもらうためです。人を大切にすることは、「見えない部分を想像すること」。統合元年度の学校教育目標「相手の気持ちを理解しようとする人」の理念を継承する意味も込め、根っこにたくさん栄養を注ぎ込んでいく学校でありたいと考えています。

目に見えないものも大切にしながら、統合によって生まれた多様な感性を力に変え、「学び合い 支え合い 高め合う」日々を積み重ねることで、子供たち一人一人の確かな成長につながる学校づくりを進めてまいります。保護者の皆様や地域の皆様と学校が思いを共有し、ともに子供たちの歩みを温かく支えていければ幸いです。

令和8年度も、どうぞよろしくお願いたします。



## ＜お知らせ＞ 令和8年度裾野市保護者等連絡窓口について

文部科学省の「学校における保護者等への対応の高度化事業(調査研究)」を、昨年度に続き、令和8年度も裾野市で実施することとなりました。

連絡窓口の開設は、6月1日(月)を予定しており、昨年度の実証結果や、アンケートでの意見・ご要望も踏まえ、準備を進めています。

詳細は5月の学校だよりと併せてご案内しますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※4・5月は、2・3月までと同様に、16時30分までは学校に、16時30分以降はコールセンター(050で始まる番号)に電話をしてください。

## 教育相談について

困り事などのご相談があれば、いつでも対応いたしますので、電話や連絡帳で「教育相談を希望します。」とお知らせください。お子さんの心や発達等の悩みについて、担任だけでなく、専門家（非常勤）にも相談できます。来校日については、月予定やホームページの月予定でご確認ください。



<スクールカウンセラー：小林奈美さん>

- ・主に、心についての相談に対応します。お子さんご本人の悩み相談にも対応します。

<特別支援教育巡回相談員：市川正子さん>

- ・主に、発達に関する相談に対応します。裾野市内の幼稚園や小学校の相談員です。

<スクールソーシャルワーカー：勝又千寿さん>

- ・学校での様々な相談を受けて、子どもにとってのより良い環境づくりのために、関係機関との連絡調整を図りながら具体的な提案・アドバイスをします。

## Chromebook 利用の確認書 お子さんと読んで確かめてください

Chromebook を使用するにあたり、利用の確認書の内容を、今一度お子さんと一緒に読んでください。確認できましたら、自署の欄があります。ご記入ください。

こんなこと、ありませんか？

Chromebook でゲームをしたり、学習と関係のない動画を見たりしていますが…

「3つの約束」を確認しましょう。・私は学習のためだけに使います。・私は健康に気を付けて、時間を守って使います。・私は人がいやがることや悲しむ使い方をしません。・・・その使い方は、3つの約束に合った使い方でしょうか？

※確認書は、自宅保管用と提出用の2種類あります。お子さんと今後、折に触れて確認できるように、確認書の保管をお願いします。

※Chromebook は市から貸与されているものです。



## 業者テスト 総ルビテストの利用について

一人一人の教育的ニーズに等に応じた合理的配慮の一つとして、総ルビテスト（ふりがな付きテスト）の対応が可能な場合があります。総ルビテストは、問題文の漢字にふりがなが付いていて、「漢字が読めないために問題が解けない」という課題が解決できません。総ルビテストの利用希望があれば、担任にご連絡ください。ご意向を伺いながら適切な対応をいたします。（年度末にお申し込みの方は、再度の連絡は不要です。新任へ引き継ぎました。）



## 補助教材選定委員会を経て、ドリル等購入しました（各学年）

各学年、補助教材選定委員会において、子供たちの発達段階に合った学び方に適しているか、学習指導要領に準拠しているか、問題量や経済的な負担は適切か等の観点から、副教材（ドリルや問題集等）を選び、購入しました。24日の参観日の際、選んだ補助教材を廊下に展示します。来校の際、ご覧ください。